

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学実験 1		選択	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
柁木 隆寿	B306	t.masaki	木曜日 14:40~17:00		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉 心理学における実験の重要性を理解し、実験を計画・実施・報告するのに必要となる基本的知識と技術を取得することを目的とする。</p> <p>〈概要〉 ヒトの「こころ」を科学的に理解するためには、実験や調査といった研究活動が必要となる。この講義では目に見えない「こころ」をどのようにすれば実験対象として扱えるのか、その学問的魅力と限界について、実際に実験を行いながら解説・伝授していく。</p>				
学習上の助言	毎回講義に出席し、積極的な態度で受講することを望む。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	公認心理師の基礎と実践⑥ 心理学実験 / 編: 山口 真美 他 / 遠見書房 よくわかる心理学実験実習 / 編: 村山 香奈 他 / ミネルヴァ書房				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学における実験の重要性について理解し、説明することができる。			WP(4)、(5)	
②	心理学の基本的な実験方法について理解し、適切に実践することができる。			WP(5)	
③	収集したデータについて基本的な統計分析を行うことができる。			WP(5)、(6)	
④	研究レポートを執筆規定に従って作成することができる。			WP(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。実験・研究の一般的流れについて学ぶ。	講義	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。	0.5	
2	ミューラーリヤー錯視 (1) : 研究対象となる現象について調べ、関連文献を読む。	講義	配付資料を熟読し、内容を整理する。	1	
3	ミューラーリヤー錯視 (2) : 実験仮説、手続きについて学ぶ。	講義	配付資料を熟読し、内容を整理する。	1	
4	ミューラーリヤー錯視 (3) : 実験を実施し、データを収集する。	講義・実験	レポート作成に必要な情報を集め、実際に作成する。	1	
5	ミューラーリヤー錯視 (4) : データ分析・結果の解釈を行う。	講義・実験		1	
6	ミューラーリヤー錯視 (5) : レポートの書き方について学ぶ。	講義・実験		2	
7	精神物理学的測定法について学ぶ。	講義・演習	配付資料を熟読し、内容を整理する。	0.5	
8	メンタルローテーション (1) : 研究対象となる現象について調べ、関連文献を読む①。	講義	配付資料を熟読し、内容を整理する。	1	
9	メンタルローテーション (2) : 研究対象となる現象について調べ、関連文献を読む②。	講義	配付資料を熟読し、内容を整理する。	1	
10	メンタルローテーション (3) : 実験仮説、手続きについて学ぶ。	講義	レポート作成に必要な情報を集め、実際に作成する。	1	
11	メンタルローテーション (4) : 実験を実施し、データを収集する。	講義・実験		1	
12	メンタルローテーション (5) : データ分析・結果の解釈を行う。	講義・実験		1	
13	メンタルローテーション (6) : レポートの書き方について学ぶ。	講義・実験		2	
14	反応時間に関する心理学実験について学ぶ。	講義・演習	配付資料を熟読し、内容を整理する。	0.5	
15	他の心理学実験の手法について学ぶ。	講義・演習	配付資料を熟読し、内容を整理する。	0.5	
試					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	0	0	40	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	5	15
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	5	15
評価の方法		評価のポイント				フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	計 2 つのレポートの提出 (授業期間中) が単位取得には必須である。 体裁、内容、表現力等により評価する。			提出されたレポートは、添削後に返却する。再提出を求め ることもある。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	実験・調査への取組み (態度、質疑応答、グループ作業)、各回の課 題の達成度を総合的に判断する。			講義中及びオフィスアワーに て総評を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>本講義は公認心理師取得のために必要な科目「心理学実験」に対応した科目である。資格取得を目指す学生は必ず履修すること。</p> <p>履修する学生は第 1 回目のオリエンテーションに必ず出席し、内容を確認すること。公欠等、やむを得ない理由で出席できない場合は、第 1 回目授業が始まる前までに、担当教員に必ず連絡すること。</p> <p>2 つ実験を全て経験することとレポートの全提出が単位取得の前提条件である。そのため、原則、全ての講義に出席することが必要となるので留意すること (無断欠席・遅刻は厳禁)。</p> <p>Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。</p> <p>また、全 15 回が登校授業 (対面授業) であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p> <p>実践的授業の内容：自らが実験者および被験者 (実験参加者) となって、心理学実験機器を使用し実際にデータを測定する。また、適切な統計分析の実施、研究レポート (報告書) の作成ができるように、知識だけでなく、ノート PC の使用方法等、実践的な技術についても学んでいく。</p>							